

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
A 話 す こ と・ 聞 く こ と	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。他者の意見や考えをよく聞き理解するよう努める。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを十分に理解しよく考えて進行する。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方の基本を作り上げていく。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。基本的な表記や言葉遣いを理解し、繰り返し習得して応用できる力を付ける。</p> <p>イ 論理の構成や展開を組み立てる力を養う。論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を学び、応用できる力を付ける。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	ア 基本的な本読みの力を十分に付けるべく、読書・音読の機会を活用していく。内容や形態に応じた表現の特色に注意する。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約することができるようにする。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の考えや意見を的確にとらえたりする。
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	オ 幅広い読書の機会や場面を増やし、本や文章に慣れるような環境を整え、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。特に、他国籍、民族の文化や言語を活用する生徒によく配慮する。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。基本的な事項の反復練習を続ける。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙の存在を把握し、応用できるようにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
A 話 す こ と・ 聞 く こ と	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。他者の意見や考えをよく聞き理解するよう努める。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを十分に理解しよく考えて進行する。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方の基本を作り上げていく。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。基本的な表記や言葉遣いを理解し、繰り返し習得して応用できる力を付ける。</p> <p>イ 論理の構成や展開を組み立てる力を養う。論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を学び、応用できる力を付ける。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	ア 基本的な本読みの力を十分に付けるべく、読書・音読の機会を活用していく。内容や形態に応じた表現の特色に注意する。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約することができるようにする。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の考えや意見を的確にとらえたりする。
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	オ 幅広い読書の機会や場面を増やし、本や文章に慣れるような環境を整え、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。特に、他国籍、民族の文化や言語を活用する生徒によく配慮する。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。基本的な事項の反復練習を続ける。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙の存在を把握し、応用できるようにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード「基礎」
<p>(1) 世界史へのいのぎな</p> <p>自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、世界史の学習の基本的技能に触れさせるとともに、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる</p>	<p>・六大陸・三大洋など中学地理の基本知識の学びなおしを行う。</p> <p>・西暦の表記の方法、世紀の考え方など歴史を学ぶ上で必要最低限の知識の確認を行う。</p> <p>・地域ごとの自然環境について大まかに学び、人々の生活と自然との関わりについて考察する。</p> <p>・現代の日本で、身近な生活で使われているものを取り上げ、世界とのつながりの上で今の生活があることを理解させる。</p>	
<p>(2) 世界史の一体化と日本</p> <p>近現代世界を理解するための前提として、ユーラシアの諸文明の特質に触れるとともに、16世紀以降の世界商業の進展及び資本主義の確立を中心に、世界が一体化に向かう過程を理解させる。その際、世界の動向と日本とのかかわりに着目させる。</p> <p>ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフ</p>	<p>・西アジア・地中海世界・ヨーロッパにおける文明の成立を概観し、人やものの交流に気づかせる。</p> <p>・人やものの交流の中から、文化や宗教、生活様式などが成立したことを理解する。</p> <p>・大航海時代を経て、アメリカ大陸の産物がユーラシア大陸にもたらされ、どちらの地域にも生活の変化が起きたことを理解させる。また、その中に日本も含ま</p>	

学習指導要領	都立中野工業高校 学カスタンダード「基礎」
<p>リカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>(3) 地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特質と展開過程を理解させ、人類の課題について歴史的観点から考察させる。その際、世界の動向と日本とのかかわりに着目させる。</p> <p>ア 急変する人類社会 科学技術の発展、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化につて、人類的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>れていることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀ごろから、ヨーロッパ諸国で主権国家が成立したことを理解する。 ・産業革命・市民革命を両輪として、近代社会が形成されたことを理解する。 ・帝国主義の台頭により、欧米によるアジアへの進出が起こったことと、その中での日本の近代化を関連付けて理解する。 ・第一次世界大戦から第二次世界大戦の時期に、現代の社会へと移行していく、様々な社会の変化が生じたことを理解させる。 ・二つの大戦の原因を理解し、世界にどのような影響を与えたかを理解する。 ・大戦の結果もたらされたものが、今の社会にどのような影響を与えているかを考察する。

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード「基礎」
	<p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探求し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる地蔵く可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>・冷戦期を概観し、冷戦期に起きた出来事が現代社会へ与えている影響を考察する。</p> <p>・1970年以降の急激な産業・社会の変化を、現代社会が抱える課題と関連付けて理解する。</p> <p>・現代社会の課題の解決に向けての考えや意見を、歴史から探し出す技能を身につける。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの時代の歴史</p>	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶ意義に気づかせ、現在との結びつきについて考えさせる。 ・身近な出来事と歴史を結び付けて考えさせ、歴史への関心を高める。 ・政治や経済だけではなく、世界の動きや国民生活、文化なども関わりながら歴史があることに気づかせる。
<p>(2) 近代の日本と世界</p>	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近代へ向かうきっかけが江戸末期にも見られたことに気づかせる。 ・アヘン戦争から、欧米列強のアジア進出について扱い、開国に至った当時の状況を理解させる。 ・開国後の日本国内への影響と、その後の政治的対立について理解する。 ・欧米列強との力の差を知り、倒幕運動へと向かった経緯を知る。 ・薩長同盟までの流れと、大政奉還から戊辰戦争までの経緯を理解する。 ・版籍奉還、廃藩置県をはじめとする明治新政府の政策を理解し、現在の日本につながる中央集権化について考察する。 ・政府内の対立をきっかけとした自由民権運動の始まり、西南戦争について理解する。 ・大日本帝国憲法が成立するまでの過程とその内容について理解し、その後の時代における軍部台頭のきっかけが存在したことに気づかせる。 ・条約改正までの経緯を理解し、戦争によって世界における日本の立場が変化したことに気づかせる。 ・アジア諸国における冊封体制と日清戦争について理解させる。 ・欧米やアジア諸国との関係から、日露戦争について理解させる。 ・政党政治の萌芽が生まれ始めた点について気づかせる。

学習指導要領	都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における産業革命とは何かを理解し、都市と農村との生活の変化について気づかせる。 ・大衆が生まれ、国民生活の変化について理解させる。 ・現在の日本の生活に似た生活様式が生まれ始めたことに気づかせる。 ・第一次世界大戦が世界にもたらした影響について理解し、日本において大戦景気など経済的な変化が大きかったことを理解させる。 ・第一次世界大戦後の経済や関東大震災などの国内の出来事を扱い、当時の日本のおかれた状況について考察する。 ・第一次世界大戦後の世界秩序として、ワシントン体制や軍縮があったことに気づかせ、日本はその流れから外れていったことを理解させる。 ・一連の恐慌と、その影響を受けた軍部によるクーデターから、軍部の台頭を許していった社会状況について理解させる。 ・満州事変から始まる日中戦争の概要と太平洋戦争のきっかけについて理解させる。 ・なぜ戦争へと向かったのかを考えさせ、戦争が起きるきっかけについて考えさせる。

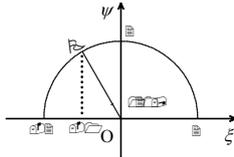
学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政治や経済、国際環境、国民生活や文化などがそれぞれ別個に存在するのではなく、相互に関わっていることに気づかせる。 ・現在の諸課題と歴史的な事象が結びついていることについて気づかせる。 	
<p>(3) ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>現代の日本と世界</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法成立までの過程を、国内状況や国際状況を踏まえて理解させる。 ・冷戦構造について理解させ、その中での日本の立ち位置を考察させる。 	
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三種の神器を扱い、高度経済成長とは何かを現在の生活と結びつけて考えさせる。 ・国民生活の変化から、価値観の変化が生まれたことに着目させる。 	
<p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的な事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の出来事や資料、ものなどから、歴史的な事象との関連を考えさせる。 ・なぜその出来事が起きたのかを、当時の人の視点と現代の視点とを比較しながら考察することができる。 	

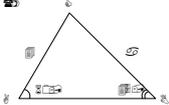
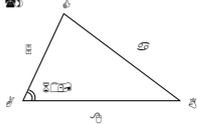
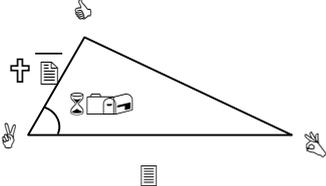
学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p> <p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における諸課題に対して、関心を持てる。 ・現代の諸課題に対して、「自分ならどのように考えるか」を考えさせ、主体的に考察させる。 ・現代社会とは様々な視点から考えることができことに気づかせる。 ・現代社会に生きる人間として、どのように生きていきたいか、どのようにしたいかを考察させる。
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の中での青年期の意味について考えさせ、自己実現やその後も続くキャリアについて考えさせる。 ・青年期とは自分とは何かを考える時期でもあり、自己と他者との関係から、自己考察をさせる。 ・民主主義の基本を理解し、日本国憲法が成立した課程について理解させる。 ・日本国憲法の理念を理解し、現在の日本の政治の仕組みの基本であることに気づかせる。 ・憲法がなぜ存在し、国家権力を縛るものとして存在することに気づかせる。 ・民主政治における個人と国家との関係を考察し、政治参加をする意義や意味を理解する。

学習指導要領	都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会において、個人の尊重が基本であること気づかせる。 ・法の支配や法規範について理解し、司法制度の在り方について考察させる。 ・えん罪事件から、司法制度改革の一環として裁判員制度が生まれたことに気づかせる。 ・市民として司法制度に関わることの意義や意味について理解する。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊重、平等などの現代社会の基本となる考え方を理解し、現実には起きている問題から考察させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の資本主義経済システムに至るまでの流れを理解させ、なぜ資本主義経済システムを採用しているのかを考察させる。 ・市場経済の機能と限界を理解し、政府の役割としての金融政策や福祉政策について考察させる。 ・経済成長や景気変動とは何かをグラフを読み取ることが理解することができる。 ・雇用や労働問題など、卒業後の生活と関連付けさせながら考察させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化とは何かを理解し、身近な出来事から、政治・経済のつながりが以前よりも進んでいることを考察させる。 ・南北問題など国際社会における貧困や格差問題を理解し、日本における国際協力などの国際的な役割はどのようなことができるかを考察させる。 ・国際社会の中でも日本に生きる人間として、どのように生活していきたいかを考えさせる。

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限りある資源の中で、持続可能な社会とは何かを考察させる。 ・ 持続可能な社会とは何かを理解し、身近な生活においてはどのようなことができるのかを考察させる。 ・ 現代に生きる人間として、どのように生きていきたいのかを考察させる。

学習指導要領		都立中野工業高等学校 学カスタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>イ 式 (ア)式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>ア 数と集合 (ア)実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>	<p>• 二次の乗法公式及び因数分解の公式が活用できる。また、式の置き換えをして、展開・因数分解ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の問に答えよ。</p> <p>(1) $(3x - 2a)(4x - 3a)$ を展開せよ。</p> <p>(2) $2x^2 - 7x + 3$ を因数分解せよ。</p> <p>(3) $(x + y)^2 - 4(x + y) - 5$ を因数分解せよ。</p> </div> <p>• 無理数の加法及び減法、乗法公式などを利用した計算ができる。また、分母だけが二項である無理数の分母の有理化ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例1) $3\sqrt{18} - \sqrt{27}$ を計算せよ。</p> <p>(例2) $(3\sqrt{2} - \sqrt{6})^2$ を計算せよ。</p> <p>(例3) $\frac{1}{\sqrt{5} + \sqrt{3}}$ の分母を有理化せよ。</p> </div>	
<p>(2) 図形と計量</p> <p>ア 三角比 (ア)鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>	<p>• 鋭角の三角比の定義を、直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができるとともに、身近な事象に活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 山のふもとの A 駅と、山頂の B 駅を結ぶケーブルカーの路線の全長は 500m、傾斜角は 25° である。A 駅と B 駅の標高差 BC と水平距離 AC は、それぞれ何 m か。小数第 1 位を四捨五入して求めよ。</p> </div> <p>• 三角比の相互関係を理解し、一つの三角比の値から残</p>	

学習指導要領	都立中野工業高等学校 学力スタンダード
<p>(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p> <p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める</p>	<p>りの三角比の値を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) $\angle C = 90^\circ$ である直角三角形 ABC において、$\cos A = \frac{1}{3}$ のとき、$\sin A$、$\tan A$ の値を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 鈍角の三角比の定義が鋭角の三角比の定義の拡張であることを理解する。また、$180^\circ - \theta$ の三角比について理解し、鈍角の三角比を求めることができる。(三角比の表を活用することも含む。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の図を用いて、$\sin 120^\circ$、$\cos 120^\circ$、$\tan 120^\circ$ の値を求めよ。</p>  <p>(例) 三角比の表を用いて、次の値を求めよ。 (1) $\sin 110^\circ$ (2) $\cos 145^\circ$ (3) $\tan 160^\circ$</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係が $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ まで拡張されることを理解し、一つの三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、$\cos \theta = -\frac{3}{5}$ のとき、$\sin \theta$、$\tan \theta$ の値を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 三角形の辺と角の間に成り立つ基本的な関係として正弦定理及び余弦定理を理解し、正弦定理や余弦定理を利用して、辺の長さを求めることができる。

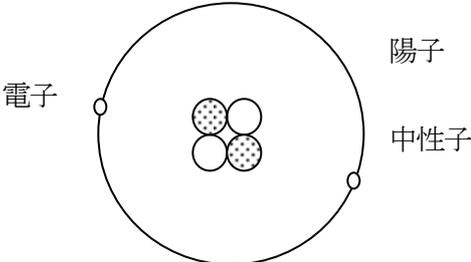
学習指導要領	都立中野工業高等学校 学カスタンダード
<p>こと。</p> <p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>	<p>(例) 次の問に答えよ。</p> <p>(1) $\triangle ABC$ において、$b=4$, $\angle A=60^\circ$, $\angle B=45^\circ$ のとき、a を求めよ。</p>  <p>(2) $\triangle ABC$ において、$b=5$, $c=8$, $\angle A=60^\circ$ のとき、a を求めよ。</p>  <p>• 三角比を利用して、三角形の面積を求めることができる。</p> <p>(例) 次の図のような$\triangle ABC$において、$b=\sqrt{2}$, $c=3$, $\angle A=60^\circ$ のとき、$\triangle ABC$ の面積Sを求めよ。</p> 
<p>(1) イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>	<p>• 数量の大小関係についての条件を不等式で表すことができ、大小関係を処理する上での基本となる不等式の性質を理解する。</p> <p>(例) $a < b$ のとき、次の□の中にく、>のいずれかの記号を記入せよ。</p> <p>(1) $a+2 \square b+2$ (2) $a-3 \square b-3$</p> <p>(3) $a \times 2 \square b \times 2$ (4) $\frac{a}{-3} \square \frac{b}{-3}$</p> <p>• 不等式の解の意味を理解するとともに、不等式の性質を利用して、一次不等式や連立不等式を解くことがで</p>

学習指導要領	都立中野工業高等学校 学カスタンダード
	<p>きる。また、日常的な簡単な事象について一次不等式や連立不等式を活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例 1) 不等式 $3(3-2x) \leq 4-3x$ を解け。</p> <p>(例 2) 連立不等式 $\begin{cases} 6x-9 < 2x-1 \\ 3x+7 \geq 4(2x+3) \end{cases}$ を解け。</p> <p>(例 3) 1 枚 2g のカードを 7g の封筒に入れて、30g 以内にして送りたい。カードは最大何枚入れて送ることができるか。</p> </div>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p> <p>ア 運動の表し方 (ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き (ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<p>基本的な物理量の単位を知る。 定義に基づき速度を理解し、$x - t$ グラフから、速度の大小及び正負を判断できる。 日常の事象を基に、直線上の合成速度について知る。</p> <p>$v - t$ グラフから速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。</p> <p>重力、垂直抗力、張力、摩擦力（静止摩擦力・動摩擦力）、弾性力、浮力がどのような力であるかを知り、それぞれを図を用いて表現できる。</p> <p>重力と弾性力は、それぞれの大きさが計算できる。 力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。</p> <p>力が働くときには二つの物体が互いに力を及ぼし合っていることを知る。</p> <p>慣性の法則を、日常生活から挙げることができる。 加速度の大きさは加えた力の大きさに比例し、物体の質量に反比例することを理解する。</p> <p>自由落下の運動の公式を用いて、1秒ごとの落下速度や距離が計算できる。</p> <p>仕事の定義を理解し、簡単な場合の仕事を計算できる。 単位時間当たりの仕事の仕事率であることを、理解する。 仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係について知り、運動エネルギーや重力による位置エネルギーを、公式を用いて計算できる。</p> <p>力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることについて理解する。 力学的エネルギーの保存（運動エネルギーと重力による位置エネルギー）に関する計算ができる。</p> <p>絶対温度と摂氏温度との換算ができ、物資の三態が温度によって変化することを知る。 比熱、熱容量という用語について知る。</p> <p>グラフから振幅や波長を読み取ることができる。 速さ・周期・振動数・波長の関係を知り、縦波と横波の違いについて理解する。</p>	

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(2) 様々な物理現象とエネルギーの利用</p> <p>ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること</p> <p>イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する</p>	<p>具体的な物質の例から導体と不導体の違いについて理解し、抵抗値が物質の種類、抵抗線の長さ、断面積に關係することを知る。</p> <p>ジュール熱、消費電力、電力量について電圧と電流との關係を知る。</p>	

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
	<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率がことなることを理解する。</p> <p>(イ) 電気の利用</p>	

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 化学と人間生活</p> <p>ア 化学と人間生活とのかかわり (ア) 人間生活の中の化学 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>イ 物質の探究 (ア) 単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>ア 物質の構成粒子 (ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p>	<p>身近なところにある化学製品によって日常生活や社会が支えられていることを知り、化学に対する興味・関心を高め、導入とする。</p> <p>全ての物質が元素から成っていることを学び、単体と化合物の区別、純物質と混合物の区別ができるようにする。</p> <p>分離・精製の方法については直観的にさまざまな方法があることでの理解でよい。</p> <p>1番から20番までの元素記号と元素名を記憶し、利用できるようにする。</p> <p>全ての物質が原子という非常に小さい粒子でできているということを実感的にとらえられるようにする。</p> <p>原子の構造についてボーアモデルを理解させる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>陽子・電子の電荷、陽子・中性子と電子の質量差についてしっかりと理解させる。</p> <p>${}^4_2\text{He}$ のように原子の構成を化学式で表せ、また読みとれるようにする。</p> <p>1番から20番までの原子について電子配置が書けるようにする。電子配置を見ながら、最外殻電子数から元素の周期律を理解できるようにする。</p> <p>1番から20番までの原子について周期と族の関係を理解する。</p>	

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
(2) 物質の構成	<p>イ 物質と化学結合</p> <p>(ア) イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p> <p>(ウ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p> <p>ア 物質量と化学反応式</p> <p>(ア) 物質量 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p> <p>(イ) 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p>	<p>長周期表を用いて、典型元素、遷移元素の違い。金属元素と非金属元素の違いを理解できるようにする。アルカリ金属、アルカリ土類金属、ハロゲン、希ガスなどの典型的な族の名称を記憶し、性質が理解できるようにする。</p> <p>イオンについての基礎的知識が定着し、電子配置からイオンの生成の仕方を理解できるようにする。</p> <p>イオン結合が電氣的な力による結合であることを理解し、正負の電荷が釣り合うように物質が結合することが理解できる。</p> <p>金属光沢を持つ、延性・展性を持つ、電気をよく通す熱伝導性が高いなどの性質がすべて、自由電子によることを理解させる。</p> <p>不足する電子を共有することで強固に結合をしてひとかたまりになっている。粒子として分子がイメージできるようにする。</p> <p>原子量について理解し、標準的な単体、化合物について分子量（式量）が計算できるようにする。</p> <p>mol という単位が個数についてまとめられた単位であることを理解できる。</p> <p>1 mol の物体の質量を求めることができる。</p> <p>粒子数、気体の体積との関係については簡単な計算ができる。</p> <p>典型的な化学反応について、反応式が書ける。反応式の係数が反応物質の物質量の比であることが理解でき、求めることができる。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(3) 物質の変化</p>	<p>イ 化学反応 (ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p> <p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p>	<p>水に溶けると水素イオンを出す物質が酸、水酸化物イオンを出す物質が塩基という基本の定義を理解して、酸、塩基を判別することができる。</p> <p>pH は7を中性として酸性や塩基性の強さをしめしていることを知る。 中和について知る。 塩とは何かを知る。</p> <p>酸化反応と還元反応について知る。</p> <p>化学式中の原子の酸化数を求めることができる。</p> <p>酸化剤、還元剤について知る。日常生活における。</p> <p>酸化還元反応の例を挙げることができる。</p> <p>金属のイオン化傾向について理解し、言える。</p>

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
(1) 生 物 と 遺 伝 子	<p>ア 生物の特徴</p> <p>(ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。</p> <p>(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。</p> <p>イ 遺伝子とその働き</p> <p>(ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。</p> <p>(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生物は共通の祖先をもつこと、生物は多様でありながら共通性をもっていることを知る。 ・細胞が生命の基本単位であることを知り、代表的な生物名を挙げるができる。 ・ATPが生命活動のエネルギー物質として利用されていることを知る。 ・生命活動で酵素が働いていることを知る。 ・光合成では光エネルギーを用いて有機物が作られ、呼吸では有機物からエネルギーが取り出されることを知る。 ・ミトコンドリアと葉緑体の起源について知る。 ・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを知る。 ・DNAは二重らせん構造であることを知る。 ・遺伝情報とゲノムの関係について知る。 ・体細胞分裂では、間期にDNAの複製が行われることを知る。 ・体細胞分裂の前後で生じる細胞の遺伝情報はもとの細胞と同じであることを知る。 ・DNAの遺伝情報はRNAを経て、タンパク質となることを知る。 ・生命現象がタンパク質の働きで行われていることを知る。 ・分化した細胞でも、同じ遺伝子をもっていることを知る
(2) 生 物 の 体 内 環 境 の 維 持	<p>ア 生物の体内環境</p> <p>(ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。</p> <p>(イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体液には血液・リンパ液・組織液があり、体内環境を形成していることを知る。 ・血液の成分を挙げるができる。 ・心臓の構造と心臓につながる血管名、動脈と静脈の違いについて知る。 ・体内環境を維持するために、肝臓や腎臓が重要であることを知る。 ・血液凝固により失血を防ぐことは、体液量を保つために重要であることを知る。

学習指導要領		都立中野工業高校 学カスタンダード
<p>(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・免疫反応は細胞の働きによる生体防御であることを知る。 ・ワクチンの接種は免疫を利用した予防法であることを知る。 ・アレルギーやエイズは免疫機能の異常で起こる疾患であることを知る
<p>(3) ア 植生の多様性と分布 生物の多様性と生態系</p> <p>(ア) 植生と遷移 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。</p> <p>(イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。</p> <p>イ 生態系とその保全</p> <p>(ア) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。</p> <p>(イ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。 ・植生の変化に伴い、環境も変化していくことを知る。 ・バイオームの意味を知る。 ・植物を基盤とした世界の代表的なバイオームの名前をあげることができる。 ・生態系は生物と非生物的環境からなることと、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。 ・生態系では、物質の移動に伴ってエネルギーが一方方向に移動していることを知る。 ・生態系は常に変動しているが変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを知る。 ・人間の活動によって生態系が攪乱された例を挙げられる。

学習指導要領		都立中野工業高校学カスタンダード
聞くこと	ア事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な定型表現（挨拶、曜日、日付、時間、天候等）を聞いて理解することができる。 ・ 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 ・ わからないときは聞き直したりするなどして、相手の話を聞きこうとする態度がとれる。
話すこと	イ説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、質問や指示などに応じることができる。 ・ 単語の発音の特徴を捉えて話すことができる。 ・ 絵や図を参考にして、内容を推測するなどして話すことができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。
読むこと	ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の文中のS+Vをつかむことができる。 ・ 教科書の巻末の単語リストや英和辞典を使いながら、50～150語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・ 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、絵や図などを参考にして、推測しながら読み続けることができる。 ・ 教科書の文章の単語の発音に気を付けて、聞き手に伝わるように音読することができる。 ・ 教科書の文章を、フレーズ毎に、適切な音量で音読することができる。 ・ 教科書の文章を読んで、文章の流れに注意しながら読むことができる。
書くこと	エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を簡単な文章でまとめることができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解して書ける。 ・ 挨拶や身近な場面が必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。（挨拶、曜日、日付、時間、天候等） ・ 50～150語程度の教科書の文章を要約して書ける。

学習指導要領		都立中野工業高校学カスタンダード
聞くこと	ア事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な定型表現（挨拶、曜日、日付、時間、天候等）を聞いて理解することができる。 ・ 英語による簡単な指示や基礎的な発問を聞き取ることができる。 ・ わからないときは聞き直したりするなどして、相手の話を聞きこうとする態度がとれる。
話すこと	イ説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、質問や指示などに応じることができる。 ・ 単語の発音の特徴を捉えて話すことができる。 ・ 絵や図を参考にして、内容を推測するなどして話すことができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。
読むこと	ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の文中のS+Vをつかむことができる。 ・ 教科書の巻末の単語リストや英和辞典を使いながら、50～150語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・ 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、絵や図などを参考にして、推測しながら読み続けることができる。 ・ 教科書の文章の単語の発音に気を付けて、聞き手に伝わるように音読することができる。 ・ 教科書の文章を、フレーズ毎に、適切な音量で音読することができる。 ・ 教科書の文章を読んで、文章の流れに注意しながら読むことができる。
書くこと	エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読んで、事実と意見などを区別して内容を理解し、自分なりの意見や感想を簡単な文章でまとめることができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解して書ける。 ・ 挨拶や身近な場面が必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。（挨拶、曜日、日付、時間、天候等） ・ 50～150語程度の教科書の文章を要約して書ける。

学習指導要領		スタンダード
(1) 人と技術と技術と環境	ア 人と技術	<ul style="list-style-type: none"> 工場見学や職場見学を通して、働くことの意義や最先端の技術について理解する。 作品を製作（制作）する上で、様々な発想技法を活用することができる。
	イ 技術者の使命と責任	<ul style="list-style-type: none"> 実験・実習中の安全作業のための方法を理解する。 実験・実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 食品を製造する為の衛生管理に関する技術と態度を理解する。 微生物を扱うときの衛生管理に関する態度や無菌操作を理解させる。
	ウ 環境と技術	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観や倫理観について理解させ、環境や資源の保全に努める態度を身につける。 廃棄物が環境に影響を与えない廃棄処理方法を理解する。
	ア 形態を変化させる加工	<p><機械系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 板金加工など手仕上げ作業を通して、金属の特徴について理解し、加工することができる。 けがき作業の必要性を理解し、材料にけがき作業や切削作業・穴あけ作業ができる。 簡易鋳造の作業を通じて、鋳造に対する基本的な作業方法を理解し、安全に鋳込み作業をすることができる。 <p><電気・電子系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい半田付けの手順を理解し、きれいに半田付けができる。 <p><工業化学系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 銀アンモニア溶液をショ糖で還元しガラス面に鍍銀して鏡を作る。 綿布を植物色素で染色する。 七宝焼で、キーホルダーを作る。 数種の高級脂肪酸と香料を調合し洗顔クリームを製造する。 <p><食品系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> 手作業でクッキーやマドレーヌを作ることにより小麦粉の加工特性や使い方を学習する。 アイスクリームをクリームから手作業で製造し、乳製品の加工特性を知る。 リンゴを手作業でジャムにすることにより、ナイフの使い方や、切り方、ジャムへの変化を実感させる。

学習指導要領		スタンダード
(2) 基礎的な加工技術	イ 質を変化させる加工	<p><機械系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易鋳造の体験で作業の流れを理解する。 ・簡易鋳造で鋳込みの基本的作業手順を理解する。 ・板金加工など手仕上げ加工などの種類や加工方法を知る。 <p><電気・電子・情報技術の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則とその原理を理解する。 ・BASIC による簡単なプログラムの入力を理解する。 <p><工業化学系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応を利用した鏡の作製等、化学変化を利用した加工法を理解する。 ・ハンドクリームや石けんなど、生活の中で使用している化学製品の製造方法について理解する。 <p><食品系の加工></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作業でクッキーやマドレーヌ、パンなどを作ることにより小麦粉の加工特性や添加物（膨張剤）、イーストなどの使い方を学習する。 ・アイスクリームをクリームから手作業で製造し、寒剤や乳製品の性質を知る。 ・酵素アミラーゼを使用して、デンプンをブドウ糖に分解させる実験を通して、酵素反応の意味を理解する。 ・ヨーグルトを製造し、微生物実験の基礎・基本をしっかりと伝える。微生物実験のため、オートクレーブ、クリーンベンチ、インキュベータなどの装置を使用できるようにする。
	ア 生産の流れと技術	<p><機械系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易鋳造による実習を通して、日常生活で利用されている鋳造製品がどのような作成方法で作られているかを理解する。 ・板金作業を通してその加工方法を理解し、金属の特徴を利用した製品がどのような方法で作成されているか理解する。 <p><電気・電子・情報技術系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な操作を理解する。 ・簡単なコンピュータ・プログラムを理解できる。

	学習指導要領	スタンダード
<p>(3) 基 礎 的 な 生 産 技 術</p>	<p>イ 基礎的な分析及び測定技術</p>	<p><工業化学系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の定義・性質・濃度の表示方法について学習する。 ・分離分析の一種であるクロマトグラフィーの理論を学習し、ペーパークロマトグラフィーによる植物色素の定性を行う。 <p><食品系の技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミートソースを作り、袋詰めからレトルト殺菌し製品化することにより、レトルトパウチ食品の製造工程や製造機器などについて学ぶ。 ・生のリンゴ1個から瓶詰めジャムを作ることにより、収率や廃棄率、瓶詰めや殺菌について学ぶ。 ・パンを発酵食品として小麦粉から作ることにより、練る工程の重要さや、素材の継時変化など工程時間の取り方と製品への影響を学ぶ。 <p><機械系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・板金加工での穴あけ加工や、必要な加工のけがき作業が図面を見ながらできる。 ・鋳造工程で溶けた金属の表面が酸化膜で覆われ、金属が急激に酸化をすることを理解する。 <p><電気・電子・情報技術系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・抵抗器の抵抗値は、カラー・コードで表されていることを理解できる。 ・抵抗計で電気抵抗が測定できる。 <p><化学系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・純水、水道水、海水、河川水等に含まれる金属イオン、有機物等を検出し、環境について考える。 ・媒染剤の役割や、動物性と植物性繊維の違いについて学ぶ。 ・金属の性質、糊薬の成分や性質について学ぶ。 ・界面活性剤の作用を学ぶ。 ・天秤の扱い方を理解する。 ・溶液の調整法を理解する。 <p><食品系の分析及び測定技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソルビン酸カリウムの同定を行い、分析の基本操作（ガスバーナー、試験管、ビーカー、試薬などの扱い方）を学ぶ。 ・飲料に添加されている色素が天然製か合成色素か判別することにより色素などの添加物について理解する。